

燦々便り 77

想像力

こんにちは。皆さんはテニスの試合に参加すること、どのようにとらえていますか？

私達のローカルテニスでは、試合は生活のいろいろだと思っています。

試合と言えば、勝たなきゃ！が来てしまうかも。でも勝つ確率は2分の1、決勝まで行くとすると、その確率はどんどん下がります。

決勝で負けるなら、1回戦で負けたのと同じ！勝たなきゃ楽しくない！など、勝負に対する厳しい言葉はいっぱいあります。

そのような厳しさを横目で見ながら、生活のいろいろとして、取りいれていこうとするのがローカルテニスの良さです。

皆さんは小さい頃から、おとぎ話を聞いたり、本を読んだりしませんでしたか？

私はテニスの試合での30分なり、1時間はドラマだと思って、楽しむのを想像するのが好きです。これも筋書きのないドラマ、ではありませんか？

勝つか負けるか初めにわかった試合は少しつまらないです。

その瞬間、瞬間の心理状態を楽しんだり、相手との駆け引きを読もうとしてみたり、ペアとの意気が合う時、合わない時、なんでこんな事してしまうの！（自分に腹立てます）

書ききれないほど、試合の中でドラマがあると思いませんか？

これは、試合に出なければできません。

先日、コロナの自粛時間、片付けをされていて、金子みすゞの詩集を見つけました。

その中の1つ紹介したいと思います。私達はおとぎ話や物語で、悪い者が成敗されたり、努力が実るなど、成功体験が当たり前と思っていまいませんか？

金子みすゞという人の優しさを読むことが出来て、人は、勝った後、負けた後、成功した後、が大切なのだなと思いました。死ぬまで勉強ですね。

こぶとりじいさん おはなしのうた

正直じいさんこぶがなく
なんだかさびしくなりました
意地悪じいさんこぶがふえ、
毎日わいわい泣いています

正直じいさんお見舞いだ
わたしのこぶがついたとは
やれやれほんとにお気のどく
も一度、一しょにまいりましょ。

山から出てきた二人づれ
正直じいさんこぶ一つ
意地悪じいさんこぶ一つ
二人でにこにこわらった。

お知らせ

能勢杯

コロナも少し落ち着いている今
最終戦を迎えました。
今年中に終わるべくよろしくお願いします。

すばる杯

10月22日
秋晴れのなか、無事終わりました。
久しぶりの大会でした。楽しめたでしょうか

燦々カップ 予定

11月19日(金)

12月17日(金)

2022年1月28日(金)

場所 野洲河川コート

10時半スタート

申し込み受付中